

脳梗塞に対する経皮的血行再建療法の回収血栓病理に関する後ろ向き多施設研究

2015年4月1日から2022年12月31日までに急性期脳梗塞のために経皮的血行再建療法を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「脳梗塞に対する経皮的血行再建療法の回収血栓病理に関する後ろ向き多施設研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として2015年4月1日より2022年12月31日までに日本医科大学付属病院 脳神経内科にて、主幹脳動脈閉塞による急性期脳梗塞のために経皮的血行再建療法を受け、血栓を回収された患者さんの採取された血栓サンプルを含めた情報を研究対象とする研究です。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脳梗塞に対する経皮的血行再建療法の回収血栓病理に関する後ろ向き多施設研究

研究期間：研究実施許可日～2024年12月31日

当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 教授 木村 和美

(2) 研究の意義、目的について

脳梗塞は血栓により脳血管が閉塞することにより起こる疾患です。脳梗塞の血栓の特徴を調べることで脳梗塞の原因を知ることができる可能性があります。今回の研究は脳梗塞の血栓の特徴を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2015年4月1日より2022年12月31日までに日本医科大学付属病院脳神経内科にて経皮的血行再建療法を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用いたします。本研究は、外部機関との利益相反はありません。

試料：手術時に摘出した血栓組織 情報：年齢、性別、血圧値、採血結果、画像結果、診療記録等

手術時に摘出した血栓組織標本は共同研究機関である新潟大学病院 病理標本組織診断センターへ提供され、必要な染色と解析を行います。これらの情報は、セキュリティ管理されたデータベースに入力を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。日本医科大学付属病院から収集された試料・情報を用いて、研究グループが血栓の構成成分を病理学的に解析し、様々な原因の脳梗塞と比較します。さらにその血栓の特徴と年齢や性別、各種検査結果、画像検査などを加えて総合的に比較、検討します。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学付属病院 脳神経内科

研究全体の責任者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 教授 木村 和美

試料・情報の管理責任者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 脳神経機能解析講座 教授 永山 寛

その他の共同研究機関の研究責任者：新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子・診断病理学分野 准教授 大橋 瑠子

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。

その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省 告示第1号）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 脳神経内科 教育講師 松本 典子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6637

メールアドレス：shinkeinaika@nms.ac.jp